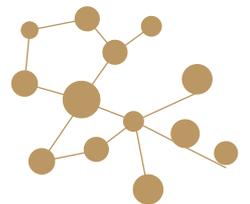




慶應義塾の 教育・研究・医療

活動報告 2021

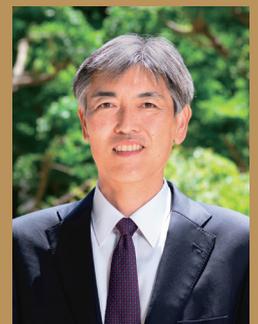
人を育てる 義塾を支える



「全社会の先導者としての理想の追求」は、慶應義塾の創立以来の伝統です。日常では一人ひとりが、慶應義塾の教育理念のひとつである「独立自尊」に沿って自らの頭で考え、自らの価値観に基づいた独立した行動を取りながらも、慶應義塾および人間社会全体の発展の成否を分けるような重要な局面においては「社中」を形成するすべての関係者が「独立自尊」を「多様性」という強みに変えて、目標の実現に向けて力を結集してきました。

このような考え方は、目下世界の共通課題である新型コロナウイルス感染症拡大への対応にも遺憾なく発揮されています。学生の通信教育環境整備支援や奨学金給付を通じた修学支援、大学病院や医学部における感染症対策および新型コロナウイルスの研究推進への支援など、卒業生をはじめとする実にご多くの方がさまざまな形で義塾の活動を支援してくださいました。また、正常なキャンパスライフへの回帰を目指し、本年6月21日から開始した新型コロナウイルスワクチン職域接種においては、大学病院の医師・看護師・薬剤師のみならず、医学部・看護医療学部・薬学部（含む、共立薬科大学）の卒業生からも惜しみないご協力をいただき、50,000人規模の職域接種プログラムを実現する感動的な運びとなりました。温かいご芳志ならびに激励のお言葉をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

先行き不透明な現代においても、慶應義塾は今後も世界と密につながりながら、安定的な財政基盤に基づいた独創的かつ先進的な教育研究活動を積極的に展開し、全社会の先導者としての役割を果たしていきたいと思っております。皆さまからのますますのご理解とご支援をお願い申し上げます。



慶應義塾長
伊藤 公平

「持続的発展可能な組織」として 世界へ羽ばたく慶應義塾を支える



未来に歩みを進める本能

2020年、世界は「新型コロナウイルス感染症拡大」という未曾有の事態に直面しました。近代都市型社会の根幹を成す「物理的接触」が感染症を克服するうえでの弱点として露呈され、その抑制が解決策の一つに掲げられるなど、コロナ・パンデミックは長年当然とされてきた行動様式や思考を転換する必要性を私たちに突きつけています。一方で、新型ワクチンの開発・投与、リモートワーク、オンラインコミュニケーションなどの先端情報技術の導入などが空前の速度で進んでおり、いかなる苦境においても未来に歩みを進める本能が人類には備わっていることも改めて浮き彫りになりました。「未来に歩みを進める」こと。「持続的発展への願い」ともいえるこうした考え方は、2030年までの17の目標とそれらを達成するための169のターゲットで構成され、コロナ・パンデミックによりその意義が再認識されているSDGsの理念にも通じるものです。

「持続的発展可能な組織」であり続けるために

慶應義塾でも、SDGsを踏まえた事業計画の策定や、SDGsに関連した教育や研究活動（例：xSDG・ラボ）など、SDGs

達成に向けてさまざまな取り組みを推進していますが、SDGsの目標達成度を評価基準とする「THE (Times Higher Education) 世界大学インパクトランキング」が登場するなど、知の集積を担う教育研究機関である慶應義塾自身が持続的発展可能な組織であり続けることもまた、義塾が社会における有用性を維持するうえで重要であるといえるでしょう。慶應義塾創立者である福澤諭吉が唱えた言葉に「独立自尊」があります。長年にわたる自由で独創的、かつ先進的な教育研究活動の推進、およびこれら活動を通じた「自分の頭で考え、実現に向けて判断し、行動できる」人材の育成の源泉となってきた「独立自尊」、この言葉こそが慶應義塾が今後も持続的に発展し、社会に貢献していくための拠り所となっていくことは間違いありません。そして、このような特長ある慶應義塾の活動を支えるための財政基盤の一角を担うのが、関係者の皆様のご芳志と慶應義塾の自己努力を原資として運用される「塾内基金」です。慶應義塾では、国内を代表する総合学府らしい多彩かつ柔軟な内容を備える基金の下で魅力的な事業を積極的に企画・運営しています。安定的な財源を確保しつつ、持続的発展が可能な、世界を先導する教育研究機関として将来も存在し続けていく原動力にしたいと考えます。

慶應義塾におけるSDGsに関連した取り組み例

■「THE 世界大学インパクトランキング」

THE (Times Higher Education) 社が発表した2021年世界大学インパクトランキングにおいて、慶應義塾はゴール9で世界51位タイを獲得しました。



■xSDG・ラボ（慶應義塾大学SFC研究所内）

多様で複雑な社会における問題解決をSDGsという目標ベースの切り口で実現するため、ソリューション指向の研究を実施しています。



Photo: Maruka Ichimura

■SDGs169ターゲットアイコン日本版制作プロジェクト（慶應義塾中等部）

選択授業「SDGsのすゝめ」の一環で、17のゴールを達成するために必要な具体的な行動をわかりやすい日本語で示すコピーの制作に取り組みました*。他にもオリジナルエンカナルグッズの開発など、学校全体を挙げて積極的にSDGsに取り組んでいます。

*生徒の作品例：緑のためにお金を使おう
作品意図→5歳児にも分かる分かりやすい表現を意識しました



◇朝日新聞DIALOGに記事が掲載されました
<https://www.asahi.com/dialog/articles/13568341>



個の力で支える /

維持会のご紹介

維持会とは、年額1万円から始められる「支え」

慶應義塾は、「自我作古」「実学の精神」「公教育」「男女平等」などの理念に基づき、SDGsが提唱されるはるか以前から幾多の困難に見舞われながらも、持続社会への貢献を命題としたさまざまな活動を推進してきた長い歴史があります。

そして、先進的・独創的な教育研究機関として未来永劫歩みを進められるよう、創立者福澤諭吉逝去後の1901（明治34）年には、「慶應義塾の発展を支えたい」との思いを共有する卒業生をはじめとする関係者によって「慶應義塾維持会」が設立されました。

維持会の現在の会員数は、45,000名を超え、皆さまからの温かいご支援のもとに、教育・研究の振興、施設の整備・充実など、慶應義塾の取り組みに幅広く寄与しています。現在の維持会基金保有高は42億円に上ります。この基金の運用益を充てることで2007年度に「慶應義塾維持会奨学金」を創設し、経済的理由により修学困難な地方出身者を中心に、一人でも多くの学生が学業に専念する環境を獲得できるように積極的に支援をしています。本奨学金を受けた学生は卒業後、多様な分野で活躍しており、大学の本分である「人材の輩出」に直接的に資する重要な事業といえます。

維持会のしくみ

世界で活躍する人材を輩出し続けるためには、世界水準の自己資金を確保すること(=維持会の拡充)が急務です。



* 維持会奨学金奨学生数は2007年度は43名でしたが、現在は135名となりました。

卒業生のコメント

維持会は塾生の挑戦を後押しする、古くて新しいとても良い支援制度

総合政策学部入学後の1年生の終わりから2年生の間、オーストラリアへラグビー留学をしました。この経験から、グローバルな舞台で活躍できる強力な武器を獲得することができたと思っています。慶應義塾は多様で優秀な学生が集まる学び舎。可能性のある塾生一人ひとりの挑戦を後押しするため、僕たち卒業生の知恵と力を、寄付などを通じて還元していくことが大切です。代表的な支援制度のひとつに「維持会」という、明治以来の長い歴史を誇る古くて新しい、とても良い取り組みがあります。少額の支援で仲間を継続的に助けることができる制度に魅力を感じ、僕も維持会員になりました。仲間同士、みんなで支え合っていきましょう！



山田 章仁 君
ラグビー日本代表/
NTTコミュニケーションズ
シャインングアークス



この機会に是非とも維持会への加入をご検討ください。

慶應義塾維持会に関する詳細情報はこちら▶



? 会員になるには

寄付金の額により、普通会员と終身会員の2種類からお選びいただけます。

普通会员

年額一口1万円以上のご寄付

終身会員

年額30万円以上（一括）のご寄付

※ご寄付の方法は、預金口座振替やクレジットカード決済などにも対応しております。詳細はP6をご参照ください。

? 維持会に寄付すると

主に学生支援のために活用されます。

維持会基金の拡充

学生支援に長年寄与している中核事業「慶應義塾維持会奨学金」や、学生が利用する施設整備を支援する「キャンパス施設整備資金」などに充てられます。詳細はP4をご参照ください

慶應義塾のさまざまな事業への支援

維持会奨学金以外にもこれまで、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急支援「慶應義塾大学修学支援奨学金」(P5)、東日本大震災により被災した塾生への奨学金、施設整備（三田キャンパス防犯カメラ設置等）への財政支援、学内研究助成のひとつとして慶應義塾大学博士課程学生研究支援プログラムなどへ支援を行いました。

? 加入特典は

『三田評論』の贈呈

芳名掲載号（寄付ご入金月の2～3か月後）からご加入期間、毎月贈呈します。芳名は非掲載を選択いただくこともできます。



※『三田評論』は、明治31(1898)年創刊の歴史ある慶應義塾の機関誌です。

維持会オリジナル記念品の贈呈



ベンマーク入りのクリスタル時計です。（新規終身会員のみ）

教育研究活動を支える「基金」

創立以来、160年以上の伝統を持つ慶應義塾では、高水準の研究を維持し続け、経済界・学術界・スポーツ界などの多様な分野で活躍する卒業生を数多く輩出してきました。しかし、世界の主要大学と財政規模を比較したデータでは、慶應義塾の基金規模は最大格差で1/50となっており、教育振興の財政基盤は十分とはいえません。また、研究分野における自己資金比率は3%に留まっており、より優れた研究環境の整備が求められています。この一環で、2018年度から3年間にわたって推進された「福澤基金・小泉基金拡充事業・

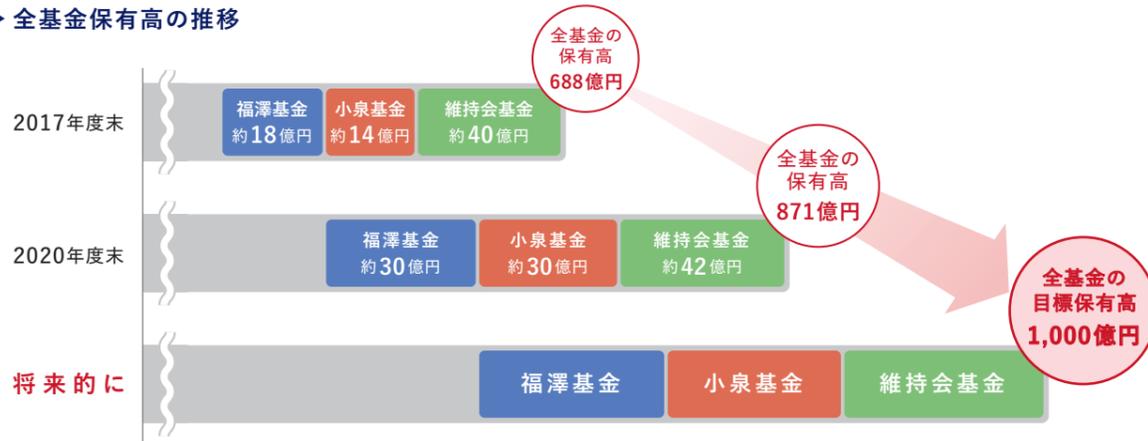
募金キャンペーン」では、多くの皆さまからのご支援により、塾内筆頭基金である両基金の保有高を福澤基金は18億円から30億円に、小泉基金は14億円から30億円に増額するに至りました。温かいご芳志に心より御礼申し上げます。今後は基金保有高を1,000億円とすることを当面の目標に、維持会基金、福澤基金、小泉基金をはじめとする各基金の下で展開される事業のますますの充実に向けて工夫を重ねていきます。引き続き皆さまのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 海外大学との比較

	慶應義塾大学 (1858年創立)	ハーバード大学 (1636年創立)	スタンフォード大学 (1885年創立)
学生総数(大学院含む)	3万3,500人	3万1,700人	1万7,200人
卒業生数	39万3,000人	40万人	22万人
基金保有高	871億円	4兆4,633億円	3兆1,843億円
QS世界大学ランキング2021	191位	3位	2位

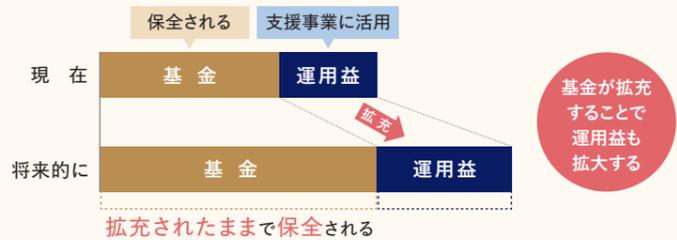
*データは各校のWebサイト等から抽出 *1ドル=110円として換算

▶ 全基金保有高の推移



「基金」とは?

慶應義塾の募金事業には、大きく分けて「基金」と「資金」の2種類があります。「資金」はいただいたご寄付そのものが事業に活用されますが、「基金」はいただいた寄付金は保全され、その運用益が事業に活用されるものです。基金は「保全」されるので、基金の拡充に伴い、運用益が増え、より多くの事業を支援することが可能になります。



*慶應義塾では、安全でリスクの低い資産運用方針のもと、基金の保全に努めています。

慶應義塾の教育・研究・医療を財政面から支える基金の中でも、持続的発展可能な組織として世界へ羽ばたくために欠かせない3つの基金についてご紹介します。

基金室Webサイトではインタビュー記事のフルバージョンを公開しています。



研究

福澤基金

(福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金)

1961年設置。「学事の振興、学者の育成は義塾百年の計である」との設置方針に基づく。

| 国外留学補助

研究者の国際活動・海外研費費用を補助

| 研究補助

幅広い分野を対象に、萌芽的研究・短期間で成果が出にくい研究なども積極的に支援

支援受け手コメント①

ソ連時代における国営火災保険政策の研究をしています。年間4~5か月をロシアで過ごします。独自性のある研究を行うには現地での丁寧な資料収集が欠かせないからです。渡航費をはじめ、研究活動のあらゆる段階で福澤基金の支援が大変役に立っています。福澤基金は私にとって、数年後の成果を目指して未開拓の研究を推し進める強力なエンジンです。

慶應義塾大学 経済学部 崔 在東 教授



支援受け手コメント②

年度初めから助成が開始され、使用の範囲も柔軟に設定されている福澤基金は、計画的かつ効率的に研究活動を進めるうえで大変有難い存在です。ご支援いただいた方に成果が届くよう良い論文を書き、積極的に社会に発信していきたいです。

慶應義塾大学 医学部 松田 恵子 専任講師



| 国際学術論文補助・学術出版補助

研究成果の積極的な情報発信を支援

教育

小泉基金

(小泉信三記念慶應義塾学事振興基金)

1967年設置。第7代慶應義塾長の小泉信三の遺徳と功績を顕彰。「文武両道」の人材の輩出を目指す。

| 一貫教育校支援

国際化の促進および少人数・適正規模教育の導入を通じて競争力のある多様なグローバル人材の育成を目指す一貫教育校の活動を支援



2021年度から、湘南藤沢中等部が新たな取り組みとしてオンラインテキストを利用した英語の多読指導を行い、生きた英語に触れる環境で生徒の英語力向上を図る授業が実施されています。引き続き、各校で英語力強化事業を展開していく予定です。

| 小泉信三奨学金・一貫教育奨学金

大学院生、一貫教育校生徒・児童への育英・経済支援を目的とする奨学金

| 国外からの招聘学者への謝金補助

学生が国際的に活躍する研究者と直接交流し、指導を受ける機会を支援

| 体育会活動支援

現役選手の活動のみならず、将来スポーツ関連の国際機関での活躍を目指す学生の教育支援



フィリピンナショナルチームの選手を招聘して、技術的・精神的な指導や練習方法を学ぶなど、コロナ禍の厳しい環境の中でも各部が工夫して貴重な財源を活用させていただいております。

学生支援

維持会基金

2007年設置。「学生への支援」を最も重要な取り組みの一つとして捉えている。

| 維持会奨学金

慶應義塾維持会の中核事業。経済的理由により修学困難な塾生が、学業に専念できる環境を整えることを目的として設置されている。なお、全国の優秀な学生に慶應義塾で学んでもらうために、地方出身者を優先的に援助している。これまでの採用奨学生数は、1,404名(2007~2021年度まで)。

| キャンパス施設整備資金

学生教育・課外活動の一層の向上・充実のための施設整備を支援

奨学生コメント

私の夢は世界の子供の笑顔を支える医師になることです。コロナ禍により一層重視される国際医療の分野で、世界に大きなムーブメントを起こせるよう、AIを使った治療や発展途上国の保健衛生に関する研究を行いたいと考えています。地方出身者が学費や生活費に大きな不安を抱えることなく勉学に励めるのは維持会の皆様のお力添えあってのことだと感じています。



茨城県出身医学部1年 (2021年度奨学生)



使途指定寄付のご案内

ご希望に沿った寄付をお申込みいただくことも可能です

慶應義塾では、寄付者の方が希望される学部、学校、研究室などの個別の活動への寄付のお申込みも随時受け付けております。また、「慶應義塾に支援はしたいが、どのような取り組みがあるのかを知りたい」などのご相談にも慶應義塾基金室がいつでも対応いたします。

同じ学部の後輩を

気になるあの研究を

青春を過ごした
キャンパスを

直接的に支えたい！

多様な学生・生徒・児童に教育の機会を

慶應義塾給費奨学金

国内最大規模240億円の基金。110以上ある給付型(返済不要)塾内奨学金の財源となっています。



慶應義塾大学修学支援奨学金

家計状況の変化、大規模自然災害などにより、経済的困窮に陥った学生の修学を支援。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への緊急支援の一環としても、本奨学金が活用されています。

魅力的な学生生活実現のために

課外活動資金*

体育会、一貫教育校などにおけるさまざまな課外活動を支援

所属していたキャンパス・学部・学校の教育・研究の発展のために

教育充実資金*

学部・一貫教育校の教育活動を幅広く支援

研究資金*

学部・研究科の研究活動を幅広く支援

キャンパス整備資金*

キャンパス単位の教育・研究活動を支援

*印のついた資金は特定のクラブや学部、キャンパス等を指定することが可能です。(例：総合政策学部教育充実資金 など)

詳細情報・ご寄付の使途に関する情報は基金室Webサイトをご覧ください。



緊急支援への協力の御礼と寄付実績のご報告

慶應義塾では2020年5月より、「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急支援」への寄付を慶應義塾ならびに基金室公式Webサイトなどを通じて呼び掛けてまいりました。「緊急支援」は、家計急変などの経済的理由により修学困難となった学生を支援する「慶應義塾大学修学支援奨学金」と、感染症に前線で立ち向かう慶應義塾大学病院の医療従事者の活動をサポートする「慶應義塾大学病院医療支援資金」により構成されています。修学支援奨学金は2021年度においては、ご寄付を財源に、春学期には245名の学生を対象に最大40万円の奨学金の給付を実施しました。秋学期も引き続き募集を行っています。医療支援資金は、個人防護具の調達、COVID-19関連機器の購入、感染対策強化のための診療・教育環境整備など、

医学部・病院における感染症対策に幅広く活用されています。これもひとえに数え切れないほど多くの関係者の皆さまからの温かいご芳志のお蔭によるものです。心より御礼申し上げます。

ご寄付のお申し込み実績

	慶應義塾大学 修学支援奨学金	慶應義塾大学病院 医療支援資金	合計
件数	1,180	1,030	2,210
金額	¥177,382,586	¥664,333,233	¥841,715,819

2021年9月30日現在集計分(速報値)



新型コロナウイルス感染症に関する本学の取り組み — これまでのご報告 —



寄付者コメント

支援を通じて慶應義塾を応援してくださる方々のコメントをご紹介します。

修学支援奨学金支援者



鳴海 加奈子 君

コロナ禍でも、学生の方には気を落とさず勉学に励んでもらいたいと思い支援しました。個性を大切に慶應義塾や福澤先生の教え。社会全体にもこうした考え方が広がることを期待し、卒業生一人ひとりが慶應を盛り上げていくことが大切だと思います。

小泉基金支援者



楠崎 浩之 君

自分が義塾で受け取ってきたものを次の人に渡していきたくて、小泉基金に寄付をしました。塾生の皆さんには、将来のことを責任を持って自分で決めていく力を養っていただきたい。そして社会に還元・貢献してくれたらこれ以上の喜びはありません。

維持会支援者



黒田 穂賀 君

「社会人の私だからできることがある。」そんな思いで維持会に寄付をしました。可能なところからアクションを起こすことが大切です。「みんなで義塾を支えていこう」というのが維持会の目的です。金額の多少にかかわらず支援することに胸を張っていいと思っています。

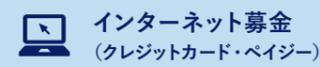
慶應義塾へのご支援をお考えの皆さま

個人の場合



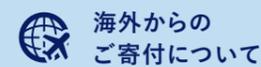
銀行
郵便局(ゆうちょ銀行)

義塾所定の払込用紙をお使いの上、金融機関(銀行または郵便局)の窓口からお振込ください。お手元に払込用紙がない場合は基金室までご請求ください。
※ATMやインターネットバンキングからの直接のお振込は寄付者の特定ができない場合がございますのでご遠慮ください。
※現金でお支払いの場合、ゆうちょ銀行では手数料が110円かかります。



インターネット募金
(クレジットカード・ペイジー)

スマートフォン、パソコン上でご寄付が完結するインターネット募金もぜひご活用ください。ご寄付のお手続き詳細については基金室Webサイトをご覧ください。



海外からの
ご寄付について

米国・香港納税者(個人・法人)の方は、Give2Asiaを経由して寄付をすることにより、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細、お申し込み方法は基金室Webサイトをご覧ください。



法人・団体の場合

ご検討の際は、基金室までお問い合わせください。

資料請求フォームは
こちら



お問い合わせ先 慶應義塾 基金室

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 TEL: 03-5427-1898 (平日9時~17時) E-mail: kikin-box@adst.keio.ac.jp

寄付金控除のご案内

慶應義塾へのご寄付は、
税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。^{*1}

^{*1}：入学した年内の寄付金（入学願書受付の開始日から入学が予定される年の年末までの期間内に納入したもの）につきましては、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。但し、教育振興資金など一部の寄付については寄付金控除の対象となります。

個人でのご寄付

慶應義塾へのご寄付は、所得税の「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択いただけます。さらに、住民税においても、条例で慶應義塾を寄付金税額控除の対象法人として指定している地域にお住まいの方は、住民税の「税額控除」の対象になります。

寄付金控除の流れ（所得税の税額控除を選択した場合）



1 所得税の寄付金控除 「税額控除」を選択
(50,000円 - 2,000円) × 40% = **19,200円**

2 個人住民税の寄付金税額控除
都道府県民税 + 市区町村民税 = **4,800円**

※地方自治体の条例により指定された場合に限り。

$$(\text{年間の寄付金合計額}^{*2} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{寄付金控除額}^{*3} \text{ (所得税額から控除)}$$

^{*2}：年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。

^{*3}：寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。

税額控除は税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除と比較してほとんどのご寄付の場合、減税効果が大きくなります。なお、所得税率が高い場合は所得控除を選択した方が有利になる場合があります。確定申告時に税額控除か所得控除のどちらかを寄付者自身が選択して所得税の控除を受けることができます。

ご自身の控除額は基金室Webサイト内の「所得税控除シミュレーター」でご確認ください。



$$(\text{寄付金額}^{*4} - 2,000\text{円}) \times \text{控除率}^{*5} = \text{住民税の控除額}$$

^{*4}：年間総所得金額等の30%が限度となります。

^{*5}：控除率は都道府県、市区町村合わせて最大10%となります。

慶應義塾を「寄付金税額控除対象法人」として、
現在条例で指定している地方自治体

条例指定にあたり、自治体内に慶應義塾の代表所在地又は設置する学校を有することが主な要件とされています。

〔都道府県〕東京都、神奈川県^{*6}、埼玉県、山形県
〔市区町村〕港区、武蔵野市、狛江市、檜原村
横浜市（横浜市外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。）
平塚市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町
（以上、神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く）
川崎市、相模原市、鎌倉市、小田原市、秦野市、厚木市、海老名市、山北町
さいたま市、志木市、蕨市、戸田市、桶川市、鴻巣市、和光市、朝霞市、新座市、富士見市、三芳町、川島町、日高市、越生町、滑川町、嵐山町、ときがわ町、小川町、八潮市、吉川市、松伏町、杉戸町、宮代町、白岡市、蓮田市、幸手市、久喜市、加須市、羽生市、行田市、熊谷市、深谷市、美里町、寄居町
山形県内の市町村すべて
大阪市

^{*6}：神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。

法人でのご寄付

- ▶ 「受配者指定寄付金制度」寄付金全額が損金に算入できます。
- ▶ 「特定公益増進法人に対する寄付金制度」一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

- ・ 新生入保護者および新生入がご寄付される場合は、入学した年末までは「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象からは除外されます。
- ・ 税額控除についての詳細は基金室Webサイトの「税制上の優遇措置」をご覧ください。 <https://kikin.keio.ac.jp/>
- ・ 確定申告書作成等の詳細については、国税庁HP 又はお住まいの地域の税務署でご確認ください。 国税庁HP <https://www.nta.go.jp/>



植物油インクを使用し、
環境に配慮しています。



適正管理された
FSC® 森林認証紙を
使用した製品